



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 ダイキョーニシカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4246 URL <http://www.daikyonishikawa.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 成明
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 錦村 元治 (TEL) 082-493-5610
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	30,074	0.6	△1,241	—	△1,008	—	△1,127	—
2022年3月期第1四半期	29,891	10.2	645	—	836	—	344	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 343百万円(△78.0%) 2022年3月期第1四半期 1,561百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△15.87	—
2022年3月期第1四半期	4.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	157,172	76,215	46.7
2022年3月期	156,162	76,918	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 73,392百万円 2022年3月期 74,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,000	15.3	△1,400	—	△1,400	—	△1,700	—	△23.93
通期	143,000	22.6	3,900	—	3,500	—	1,500	—	21.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	73,896,400株	2022年3月期	73,896,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,878,899株	2022年3月期	2,878,899株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	71,017,501株	2022年3月期1Q	70,981,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年6月30日)においては、CSR経営の強化を前面に、事業活動を通じた社会貢献活動を利益創出と双璧をなすものとして推進し、2023年度を最終年度とする中期経営計画に掲げる経営指標達成に向けた諸施策を実施してまいりました。このような状況の中、経済環境においては、新型コロナウイルス感染症による、海外でのロックダウンに伴う経済活動の停滞に伴い、自動車メーカー各社での国内生産において一部の部品調達が困難な状況となり休業が発生したこと等により、当社においても休業対応等を実施することとなり、先行きは不透明な状況が続きました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた海外のロックダウンによる自動車部品調達支障の影響と、世界的な半導体供給不足を受けた顧客各社の生産台数減少による製品売上の減少がありましたが、北米等での金型売上の増加や邦貨換算影響により、売上高は前年同期と比べ183百万円(0.6%)増加の30,074百万円となりました。営業損益は、生産工程の効率化、投資の抑制や見直しなど、あらゆる経費の削減とコスト改善活動の実施に努めてまいりましたが、国内での減産影響や急激な生産変動に対応した不規則生産による稼働ロスその他、米国新工場のフル稼働に向けた準備費用の増加により、1,241百万円の損失(前年同期は645百万円の営業利益)となりました。経常損失は、1,008百万円(前年同期は836百万円の経常利益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、1,127百万円(前年同期は344百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

日本では、戦略OEMを中心とした売上増加はありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた海外のロックダウンによる自動車部品調達支障の影響と、世界的な半導体供給不足による顧客各社の生産台数減少の影響で、売上高は前年同期と比べ3,437百万円(14.6%)減少の20,171百万円となりました。セグメント損益(営業損益)は、減産影響や急激な生産変動に対応した不規則生産による稼働ロス等により、1,158百万円の損失(前年同期は704百万円のセグメント利益)となりました。

(中国・韓国)

中国・韓国では、金型売上の増加と邦貨換算影響により、売上高は前年同期と比べ319百万円(20.3%)増加の1,894百万円、セグメント利益(営業利益)は、増収影響により65百万円の利益(前年同期は45百万円のセグメント損失)となりました。

(アセアン)

アセアンでは、金型売上の増加と邦貨換算影響により、売上高は前年同期と比べ200百万円(7.3%)増加の2,929百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は、生産工程の見直し等のコスト改善もあり、前年同期と比べ126百万円(83.7%)増加の277百万円となりました。

(中米・北米)

中米・北米では、米国新工場の稼働開始と金型売上の増加に加え、邦貨換算影響により、売上高は前年同期と比べ2,608百万円(68.6%)増加の6,413百万円となりました。セグメント損益は、開発費の増加と米国新工場のフル稼働に向けた準備費用の増加により、1,493百万円の損失(前年同期は23百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ1,010百万円(0.6%)増加し、157,172百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が減少した一方で、投資その他の資産のその他が増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ1,713百万円(2.2%)増加し、80,957百万円となりました。主な要因は、賞与引当金が減少した一方で、未払費用及び流動負債のその他が増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ702百万円(0.9%)減少し、76,215百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が増加した一方で、利益剰余金が減少したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,455	27,744
受取手形	362	287
売掛金	26,064	26,463
契約資産	512	558
電子記録債権	2,710	2,316
商品及び製品	2,575	1,660
仕掛品	1,249	1,368
原材料及び貯蔵品	3,767	4,002
未収入金	1,558	981
その他	2,073	2,397
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	69,316	67,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,168	28,664
機械装置及び運搬具（純額）	27,026	27,702
工具、器具及び備品（純額）	2,716	2,759
土地	12,331	12,356
リース資産（純額）	5,837	5,331
建設仮勘定	4,351	4,095
有形固定資産合計	80,432	80,909
無形固定資産		
799	799	789
投資その他の資産		
投資有価証券	2,318	2,515
繰延税金資産	466	531
退職給付に係る資産	4	0
その他	2,828	4,665
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	5,613	7,709
固定資産合計	86,845	89,408
資産合計	156,162	157,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,904	22,676
短期借入金	1,442	1,477
1年内返済予定の長期借入金	4,882	4,775
リース債務	2,755	2,656
未払金	3,323	3,439
未払費用	672	2,446
未払法人税等	395	144
契約負債	296	220
賞与引当金	1,725	1,042
製品保証引当金	117	104
設備関係支払手形	99	66
その他	451	1,242
流動負債合計	39,067	40,291
固定負債		
長期借入金	34,128	34,587
リース債務	2,899	2,427
退職給付に係る負債	2,684	2,715
役員退職慰労引当金	16	17
株式報酬引当金	8	11
資産除去債務	155	157
繰延税金負債	87	91
その他	193	658
固定負債合計	40,176	40,666
負債合計	79,243	80,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,426	5,426
資本剰余金	10,693	10,693
利益剰余金	59,185	57,012
自己株式	△4,177	△4,177
株主資本合計	71,128	68,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	96
為替換算調整勘定	3,119	4,350
退職給付に係る調整累計額	△10	△10
その他の包括利益累計額合計	3,103	4,436
非支配株主持分	2,686	2,823
純資産合計	76,918	76,215
負債純資産合計	156,162	157,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	29,891	30,074
売上原価	26,798	※ 28,878
売上総利益	3,092	1,195
販売費及び一般管理費	2,446	※ 2,436
営業利益又は営業損失(△)	645	△1,241
営業外収益		
受取利息	24	22
受取配当金	0	14
持分法による投資利益	29	11
貸倒引当金戻入額	130	0
為替差益	20	420
その他	57	53
営業外収益合計	263	522
営業外費用		
支払利息	70	241
その他	2	47
営業外費用合計	72	289
経常利益又は経常損失(△)	836	△1,008
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	12	6
災害による損失	53	13
特別損失合計	66	19
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	770	△1,027
法人税等	638	92
四半期純利益又は四半期純損失(△)	132	△1,120
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△212	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	344	△1,127

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	132	△1,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	101
為替換算調整勘定	1,297	1,277
退職給付に係る調整額	△43	0
持分法適用会社に対する持分相当額	105	83
その他の包括利益合計	1,429	1,463
四半期包括利益	1,561	343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,669	206
非支配株主に係る四半期包括利益	△107	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(会計方針の変更)

米国会計基準を適用している在外子会社において、当第1四半期連結会計期間よりASC第842号「リース」(以下、ASC第842号)を適用しております。これにより、借手としてのリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。ASC第842号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「投資その他の資産」の「その他」が503百万円、「流動負債」の「その他」が29百万円、「固定負債」の「その他」が473百万円、それぞれ増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 新型コロナウイルス感染症に関する事項

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、休業を実施したことにより支給した休業手当等について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けた金額等133百万円を販売費及び一般管理費並びに当期製造費用から控除しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
製品売上	20,719	1,086	2,618	3,767	28,192
金型売上	1,486	—	59	23	1,569
その他売上	105	10	3	8	128
顧客との契約から生じる収益	22,312	1,097	2,682	3,799	29,891
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,312	1,097	2,682	3,799	29,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,297	477	46	4	1,826
計	23,609	1,575	2,729	3,804	31,717
セグメント利益又は損失(△)	704	△45	151	△23	786

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	786
セグメント間取引消去	△140
四半期連結損益計算書の営業利益	645

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
製品売上	18,049	1,105	2,554	4,851	26,561
金型売上	1,281	288	283	1,517	3,370
その他売上	100	18	1	22	142
顧客との契約から生じる収益	19,431	1,412	2,839	6,390	30,074
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,431	1,412	2,839	6,390	30,074
セグメント間の内部売上高 又は振替高	739	482	90	22	1,334
計	20,171	1,894	2,929	6,413	31,408
セグメント利益又は損失(△)	△1,158	65	277	△1,493	△2,309

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,309
セグメント間取引消去	1,067
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,241